

令和3年度 学校評価報告書

学校名	三田市立狭間小学校
-----	-----------

1 学校教育目標

豊かな心で、自ら考え行動できる子の育成

2 今年度の学校重点目標

新しい教育の創造～正解は常に教師の中にあるからの脱却～ 子どもの視点に立つ(学習→学び)
 (1)よい授業づくり(新学習指導要領に対応した授業～アクティブ・ラーニングの意識化～)
 (2)よい学級の土台づくり(誰もが安心でき、笑顔で1日を終える)
 (3)よい学校生活の習慣づくり
 (4)よい学校のための環境づくり「安全・機能・美観」

3 総合的な自己評価

アンケートの結果では、児童・保護者の多くが学校生活や学習に関する設問に肯定的な評価をしている。このことは、めざす学校像「夢・やさしさ・笑顔あふれる学校」を教職員と児童が意識として共有し、実践できており、家庭においても学校と同じ方向を向いて取り組んでいただいている結果ではないかと考える。しかし、少数ではあるが学校が楽しいとは言えない児童もおり、一人一人の内面理解に留意しながら、新たな教育課程を更に見直し、工夫した授業作りと学校行事の再構築に向けて取り組んでいきたい。

4 総合的な学校関係者評価

コロナ禍の中でしたが、学校行事の見学や授業見学を通じて学校が工夫されながら組織的に子どもたちを育てようとしている様子がよく伝わってきた。子どもたちの健やかな育ちには学校だけでなく、家庭や地域においても取り組むべきことがある。今後も学校・保護者・地域が連携を図り、それぞれができることを確かめながら取り組んでいきたい。

5 評価結果

自己評価			学校関係者評価	
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信と情報収集について	定期的、臨時的に学校だより、保健だより、学年通信、HP等を通じて家庭や地域への情報発信に努めた。保護者アンケートにより、意見集約を行い、次年度に向けての確認ができた。	今後も継続して実施すると共に学校ホームページの充実を図り積極的に情報発信していく。	地域住民もより責任を持ってコミュニティスクールに参画しなければならない。その為には委員も日頃から情報共有しておく必要がある。
	住民参加の教育活動について	図書ボランティアや老人クラブ・民生児童委員・地域の方との交流が定着していたが、今年度もコロナ禍の影響によりほとんど交流の場が持てなかった。	今後も地域人材や学校支援ボランティアの活用を継続できるように人材発掘及び連携体制を整える。	コロナ禍の為、例年行っていた芋栽培や授業補助に参加できず残念ですが感染防止に共に努めたい。
学力向上指導改善プラン	言語活動の充実について	個人思考、ペアトーク、グルーptークに加えてホワイトボードやiPadの活用などで多様な授業形態を工夫し、自分の考えを深めたり、言語で表現する力をつけようと実践することができた。	今後は更に思考を深めるための表現の仕方について工夫をすることが必要である。また、オンラインを活用した他校や外部機関との交流活動なども検討する。	タブレットを活用したり、グルーptーク等で表現力や話し合いの力を高める工夫をされていることが分かる。
	基礎学力の向上について	朝学習や家庭学習で反復練習することで漢字や計算などの基礎基本の力が定着してきている。算数科では新学習システム教員との連携や少人数授業で個に応じた指導の充実が図れた。	学習習慣の定着や基礎学力の向上をねらいとして今後も朝学習の活用を図る。また、がんばりタイムの活用や放課後の補充などで個別の支援の充実を図る。	学級数が少なくなり、1クラスの人数が多くなる事に対して、個に応じた授業ができるのか保護者として不安がある。
学習指導	授業づくりについて	「めあての提示」「授業のふり返り」が定着し、その取り組みが結果となって表れている。	従来の取り組みに加えてICT機器を積極的に活用した授業づくりを進める。	授業見学を通して先生方がいろいろと工夫をしておられる様子がよく分かった。楽しく学ぶことはとても大事なことだと思います。
	指導力の向上について	1年を通して全教員が授業公開を行い、外国語を中心にオンラインを活用した研究授業を実施できた。また、校内研修を計画的に実施し、指導力の向上を図った。	指導力の向上を図るため、ICT機器の効果的な活用方法について教師間での情報共有を図る。	教師間で情報共有してICT機器の効果的な活用をしてほしい。
	学習習慣の確立について	漢字や算数のノートコンクールを実施し、全校生が目にする場所に掲示することで他者の頑張りを認め、自分の学びに活かそうとする意欲につながっている。また、家庭学習の定着が困難な児童に対して、放課後の時間を利用して個別指導を行った。	家庭学習及び家庭読書の定着を図るために、学級懇談会などの機会を通じて保護者への啓発を行う。	ノートコンクールは、子どものやる気を上手に引き出してきている。継続して取り組んでいただきたい。
特別支援教育	特別支援学級在籍児童についての共通理解と支援体制について	年度初め、年度末に在籍児童の状況について共通理解を図り、個に応じた支援のあり方を確認した。年度末には引き継ぎを兼ね、支援方法等の共通理解に努めている。	児童の引継ぎを丁寧に行いながら、特別支援コーディネーターを中心に個に応じた支援体制を強化する。	改善策にもあるように全教職員の共通理解と方向性を共有した連携が大切である。
	普通学級在籍児童で、支援を必要とする児童実態把握と支援について	児童の状況を把握し、保護者と連携しながら巡回相談、教育相談等を活用し進めている。支援体制の確認・児童理解のための研修を年度初め、年度末に行っている。	年度初めに児童理解研修を実施し、全教職員の共通理解のもと同じ方向性をもって指導に当たる。	同じ方向性を持って指導に当たれるように支援体制づくりをお願いしたい。
人権教育	子どもたちの人権意識を高める取り組みについて	人権掲示板を活用し、啓発を行った。授業公開や校内研修を行い、授業づくりにも力を入れて指導している。やさしさ発見朝会が定着化し、全校生で共有する場が持てた。	やさしさ発見の日(毎月15日)を効果的に活用するための具体策を考えることで人権意識の日常化を図る。	人権教育に尽力頂き、児童の人権意識の高さが感じられる。
	保護者への啓発について	年間に5回「人権はさま」を発行し、学年での取り組み内容を伝えている。また、2学期に人権参観日を開催し短時間であったが保護者に見学していただく機会が持てた。	人権懇談会や研修会で保護者と共に意見交流できる機会を持ち、お互いの人権意識の向上を図る。	人権意識の向上は子どもたちへの意識向上だけではないと思います。今後も保護者への啓発もお願いしたい。
生徒指導の充実	いじめ防止基本方針に基づく予防的生徒指導について	いじめアンケート、QU アンケート、はさまこアンケートの実施により、多角的に児童の現状把握に努めている。委員会や職員会議において毎月各クラスからの報告を情報共有している。	いじめ防止強化週間を設け、学校全体の取り組みを強化するとともに報告・連絡・相談を密に早期対応・情報共有の更なる徹底に努める。	いじめの把握が難しいですが、引続き生徒指導の充実を目指した取組をお願いしたい。
	児童についての共通理解と組織的対応について	年度当初に児童理解研修を行い、全教職員の共通理解を図った。組織的対応を心がけ、個別ケース会議を開催するなど関係機関との連携を図った。	組織体制を強化し、教職員の共通理解のもと必要に応じて個別ケース会議の開催や関係機関との連携を図る。	報告・連絡・相談・確認を密にし、早期対応の徹底が大事だと思います。
	基本的な生活習慣と自主性の育成について	コロナ禍での新生活様式の定着を図るために子どもたちが楽しみながら自主的に実践できる取組として『コロナに負けるなキャンペーン』を定期的に行った。	学校だより、学年通信、HP等を通じて、積極的な啓発と情報発信を行いながら、保護者との連携を密にし、生活の安定を図る。	地域でも地道ながら青少年補導活動をしていますが、家庭における生活指導が最も重要だと思います。

6 学校自己評価の実施状況について

時 期	内 容
1学期	前期児童アンケート・いじめアンケート(1学期)・QU アンケート(第1回)
2学期	いじめアンケート(2学期)・QU アンケート(第2回)・保護者対象行事(運動会)アンケート・保護者対象行事(音楽会)アンケート
3学期	後期児童アンケート・いじめアンケート(3学期)・保護者アンケート・教職員による学校評価

7 学校関係者評価委員会の活動について

時 期	内 容
7月9日	第1回学校地域運営協議会 学校経営、学校行事、生徒指導推進計画、学力向上指導改善プラン、学校評価計画、学校と地域との連携等
12月17日	第2回学校地域運営協議会 授業見学、学校行事、学力向上に向けた取組、学校と地域との連携等
3月3日中止	第3回学校地域運営協議会「中止」 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした為、学校評価に関する資料を送付し、郵送にて意見を集約した。

※学校自己評価…外部(児童生徒・保護者・地域等)アンケートの実施を含む

8 学校評価の公表について

時 期	手 段	内 容	添付
3月	保護者宛文書	学校評価(保護者評価・児童評価・教職員評価)の結果及び考察、今後の取り組み予定、改善策を記載。保護者配付。	○
3月	学校ホームページ	学校評価(保護者評価・児童評価・教職員評価)の結果及び考察、今後の取り組み予定、改善策を記載。	

※ 公表の具体がわかる印刷物等がある場合には添付願います